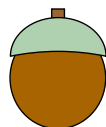


マツボックリとドングリの木を探そう



「番号がある青いプレート」がついた木を園内で探してください。木の側にある解説板を見て、**解答欄の樹木No.と木の名前を線で結んでください。**

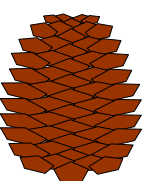
さあ、問題マップをたよりに探検へ出かけよう!!

所要時間
60分

モミ

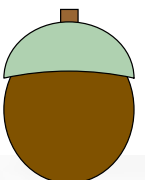


マツボックリってなあに？



「マツボックリ」はマツの仲間にできる球果で、松かさとも呼ばれます。最初、球果は固く閉じていますが、熟して乾燥すると全体が開き、タネが出てきます。葉が針のような形をした針葉樹の多くは球果をつけます。

ドングリってなあに？



「ドングリ」はコナラやクヌギなどフナ科の植物にできる実（堅果）です。堅果はとても堅い皮でおおわれ、殻斗という帽子をかぶっています。縄文時代は大切な食料として利用されました。

樹木No.

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 7
- 8
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26

- 【シラカシ】関東に多く見られるカシ。つくばでもよく見られる。
- 【ラクウショウ】治地や湿地にはえ、空気を吸う根(呼吸根)を出す。
- 【ツクバネガシ】枝の先に葉が4枚出て、羽子板のつく羽根に似ている
- 【エゾマツ】北海道を代表する針葉樹。球果は下向き。
- 【アカマツ】樹皮は赤く、葉はやわらかい。やさしいかんじから、メマツ(雌松)ともいう。
- 【アラカシ】葉の上半分に大きい鋸葉があり、裏は白っぽい。
- 【ドイツウヒ】クリスマスツリーの木に使われる。
- 【クリ】堅いイガの中に実が3個入っている。
- 【ウバメガシ】良い木炭がつくられる。
- 【ウラジロモミ】モミは若枝に毛があるが、これにはない。
- 【イチイガシ】葉の裏に黄褐色の毛が密生し黄色くみえる。
- 【マテバシイ】実は渋くなくて食べられる。
- 【ヒメコマツ】葉は5枚で、別名ゴヨウマツ。
- 【スダジイ】モコモコとした円い大きな樹冠をつくる。
- 【クロマツ】海岸の砂浜や岩の上に生える。強い感じから別名オマツ(雄松)
- 【カラマツ】日本では数少ない落葉性の針葉樹。別名を落葉松。

いくつできるかな??

